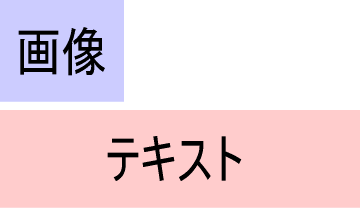
**画像の横に文字を回り込ませる方法**

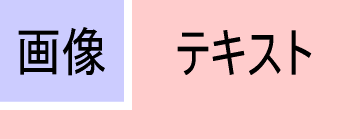
「画像の横に文章を配置する」とても簡単そうなことですが、floatを知らなければ、表でもないのにtableを使って、画像と文章を配置しなくてはいけなくなります。また、CSSレイアウトにはよく使われるので、必ず使い方を覚えておこう。

**<img src="img/gazou.gif" />  
<p>テキスト</p>**



画像を左に回り込ませる

**<img src="img/gazou.gif" style="float:left" />  
<p>テキスト</p>**



画像を右へ回り込ませる

**<img src="img/gazou.gif" style="float:right" />  
<p>テキスト</p>**



回り込みの解除

回り込みの解除にはclearを使います。

None　何もしない  
left　　左側の回りこみを解除する  
right　右側の回り込みを解除する  
both　両側の回り込みを解除する

**<img src="img/gazou.gif" style="float:right" />  
<p>テキスト</p>  
<p style="clear:both">テキスト</p>**

**その２**

**画像の横に文字を回り込ませる方法**

まずは文字を回り込ませる方法ですが**imgにfloatを使う**ことで文字を回り込ませることが出来ます

例

　　➡

　➡　

画像にCSSでfloatを書けてやると、その後に来る文字を画像に回り込ませることが出来ます

**HTML コード**

**<img src="img/000.jpg" class="left">**

**CSS コード**

**.left {float: left;margin-right:10px;}**

といった具合になります、leftとrightで右側左側をそれぞれ入れ替えて使えばOKです

 これで文字の回り込みをさせることが出来るのですが  
問題点があります、それは文字の量が画像を覆い尽くす量が無かった場合にレイアウト崩れを起こしてしまうことです

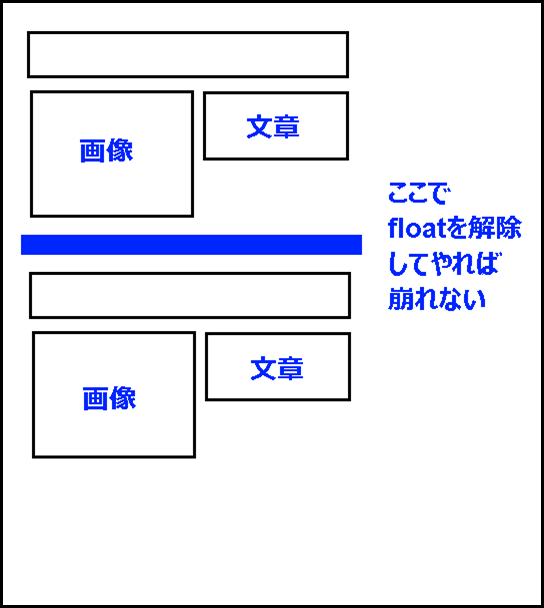


次のコンテンツが、飲み込まれてしまっています

画像の文字の回りこみを解除する方法

解除の仕方はCSSでclear:both;を次に来る要素のCSSにつけてやるだけなのですが決まったレイアウとの場合は、直接クラス付をつければOKですが、そうではない場合は<br>タグにクラスを付けて解除すると解決します

イメージ



**HTML コード**

**<h1>title</h1>**

**<img>**

**<p>文章</p>**

**<br class="clear">**

**<h1>title</h1>**

**<img>**

**<p>文章</p>**

**<br class="clear">**

**CSS コード**

**.clear {**

**clear: both;**

**}**

imgのクラス等は省略しています

これでレイアウトの崩れを防ぐことが出来ます  
毎回文章の下にくるHTMLタグが決まっていて、

clear:both;でfloatを解除しても問題ない場合にはそちらのタグにクラスを付けるか、元々有るクラスにclear:both;を追加して解除する事もできます

[**img要素**](http://www.tagindex.com/html_tag/elements/img.html)**に align="" を追加すると、画像に並ぶテキストの位置を指定できます。また、画像を回り込ませることもできます。**

**<img src="sample.jpg" alt="サンプル" align="top">**

| **属性** | **値** | **説明** |
| --- | --- | --- |
| **align=""** | **top** | **上端揃え** |
| **middle** | **中央揃え** |
| **bottom** | **下端揃え （初期値）** |
| **left** | **左フロート** |
| **right** | **右フロート** |

**ロールオーバーイメージを挿入する方法**

このセクションでは、マウスを乗せた時に画像の表示が切り替わる「ロールオーバーイメージ」の挿入方法について説明します。

https://helpx.adobe.com/content/dam/help/jp/dreamweaver/kb/236/236249/images/236249_023.gif

あらかじめ、Photoshop や Fireworks などの画像編集アプリケーションを使用して、以下のような「通常表示されているボタン」と「マウスをボタンに合わせると表示されるボタン」の 2 つの画像を用意しておきます。



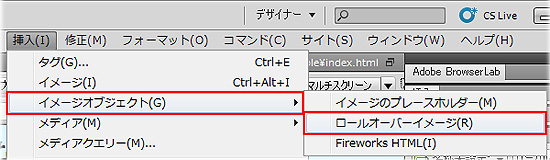
https://helpx.adobe.com/jp/dreamweaver/kb/236249/_jcr_content/main-pars/img_21.img.gif/236249_025.gif

サイト内のページを開き、画像を配置する箇所にマウスカーソルを置きます。



https://helpx.adobe.com/jp/dreamweaver/kb/236249/_jcr_content/main-pars/img_23.img.gif/236249_027.gif

[挿入] メニューの [イメージオブジェクト] をポイントし、[ロールオーバーイメージ] をクリックします。



https://helpx.adobe.com/jp/dreamweaver/kb/236249/_jcr_content/main-pars/img_25.img.gif/236249_029.gif

[ロールオーバーイメージの挿入] ダイアログボックスが表示されたら、以下の設定を行い [OK] をクリックします。

[イメージ名]　：　初期設定で「ImageX」（X は数字）と入力されています。そのまま変更しないでください。

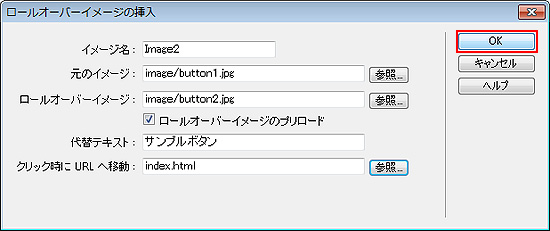
[元のイメージ]　：　[参照] ボタンをクリックし、通常表示される画像を指定します。

[ロールオーバーイメージ]　：　[参照] ボタンをクリックし、マウスを合わせると表示される画像を指定します。

[ロールオーバーイメージのプリロード]　：　チェックを入れます。

[代替テキスト]　：　必要に応じてイメージの名前、または簡単な説明を入力します。

[クリック時に URL へ移動]　：　イメージにリンクを指定する場合、リンク先のアドレスを入力するか、または [参照] をクリックしてサイト内のページを指定します。



代替テキストは重要！！画像が無い場合の文章代わりになる